

平成21年度第1回安城市総合交通議事録

開催日時：平成21年7月28日 午前10時00分から
開催場所：市役所西会館2階 第35会議室
議題等：あんくるバスの見直しについて
議事録：以下のとおり
閉会：午前11時22分

都市整備部長あいさつ

都市計画課長より、新委員の紹介および出席状況の報告

会長

それでは、先ほども挨拶にありましたように以前一度改正案について審議頂いております。それに関連して10月1日から運行したいということで、一度皆様からご意見頂いて、合意を頂くということで、次のステップ、運輸局の方への申請という形になると思います。屈託のないご意見を頂きたいと思いますので宜しくお願い致します。

新しく委員になった方もたくさんおられますので、2月3月のときの見直し等も含めて詳しく事務局のほうから説明して頂いて議論をして頂きたいと思えます。

事務局

資料等に沿って説明

会長

前回のことも含めて詳しく説明を頂きました。これについて、何でもよろしいのでご質問等ありませんか。

では私から。若干今の便数を6便にしようということでご苦労頂いたみたいですが、ダイヤのほうで10路線になっていて本数が多くなるから、ダンゴ運転みたいな形にならないようにご苦労頂いていると思うが、二台くらいまでは仕方ないのかなと思います、ただどうしても更生病院等で乗り降りをする人が多いので、そのあたりでバスが重なってしまうということがありますよね、そうすると更生病院のほうで何か乗り場の整備等も含めて今後のことがあれば教えて頂きたいのですが。

事務局

もともと更生病院とJR安城駅というのは、時刻調整のバス停になっております。バスは時間より早く走ってはいけないからちょっと早めの時刻設定にしておいて、ある程度待てるところで数分調整するという形をとっているのですが、もともと停まる時間があるところなので、2、3台までは許容の範囲だと考えており、それ以上にならないような形にさせて頂いています。あと更生病院とかそういうところでということですが、今JR安城駅の前の道路整備を行っておりますので、その中で2、3台なんとかできないかという形を検討しております。更生病院につきましては市の施設ではないが、実際に更生病院の利用者が多いので、どこかでバスが待てる場所など、更生病院とは調整をさせて頂いております。ただ、今こんな状態ですということをお示しできるものはまだございません。

会長

お待ちになる方が多分一番多くなるころだと思いますので、やはりそこらあたりで、特に更生病院とお話して頂いているあたりに対しては、良い対応をしていると思います。待つ人が多いバス停だと間違えて乗る人が出てくると思うので、その対策を病院のほうとご相談することをお願いしたいと思います。

いかがでしょうか？こういったバス停を沢山増やしたりすると、警察のほうにお世話になると思いますが、バス停が若干ずれるかもしれない、何かそのあたりについて質問がありましたら。

委員

特に私から申し上げることはありませんが、バス停の関係で何か特段の指示とかありましたか？

事務局

ええ、道路交通法等、法律で決まっているところがあるものですから、それを守ることと、当然使うのは道路なんですけど、地先の方が見えるものから、そちらの方の了解はというような話は伺っております。

委員

まあ、個別に地域の方から苦情があるようなものであれば、また個別に対応していきたいなと思います。

会長

お話は多分、市役所か署の方へ行くんじゃないかと思いますが。
他にいかがでしょうか。今日は市民の方も多いようですが、いかがでしょう。

委員

じゃあ感想に近いことで。新しく循環線ができるということで見えていたのですが、ずっと外回りを回って走ることになると思いますが、これってやっぱり利用率がいいということ前提で設定したんでしょうか。それに対して皆さんがこのあたりを乗るのかなと思って見ていたのですが。

会長

これについて、意図としてはありますよね。

事務局

まあ第一の目的としては先ほどの半分に各路線切ったということがあるので、その補完という意味もございしますが、実際には、この路線がどっちに転ぶかということについて内部でも意見が分かれています。たくさん利用いただけるのではないかと、という人もいれば、そんなにたくさん乗るのかというご意見もありますので、ちょっと私どもとしましてもどんな状態になるか予想がついてないというのが現状でございます。ただ、もともとあんくるバスを設置した目的が市街地の活性化というのもございますので、それについてはかなりてこ入れをした路線ではないかと考えています。

会長

やはりその路線についての利用度みたいなのを是非市民の方々に乗っていただいて、それを含めて利用していただくのが大変いいんじゃないかと思えます。この路線についてはぜひいろんな形で利用していただけるようなものになればいいと思います。

委員

更生病院に行く路線は駅から頻繁にあるのですが、北部線のほうで行きますと八千代病院との繋がりは非常にあるんですけど、たとえばJR安城駅周辺から八千代病院に直接、という路線ですね、これがかなり時間をかけて回っていかなくてはいけないようになっているのですが、これは名鉄バスが今あるからこのような路線になっているのですね。

事務局

現在、新安城と安城駅、更生病院を名鉄バスがかなりの本数で走っているものですので、そこについてはあんくるバスを被せることはしてなかったんですが、今計画にあります作野線につきましてはJRの方から行きます。今までは西部線がJR安城駅からぐるっと回って新安城の方へ行っていましたので、それに比べて時間的には短くなります。ただ、今言われましたように直接八千代病院に行くのは距離的な話もあって難しいものですので、南の方は更生病院、北のほうは八千代病院という住み分けをさせていただいております。

会長

他にいかがでしょうか。休憩時間を含めかなりギリギリの形でセットしていますので、運行业者さんの方には大変ご苦勞をおかけする可能性があります。その点についていかがでしょうか。

委員

私どももやらせていただいておりますが、やっておる中で今まで非常に時間的に厳しかったのですがこれから少し楽になるかなと思っておりますが、次の入札の時にはぜひとも企画提案を主体にしたプロポーザル組織というのがあるので、バスにもいろんな事情がございます。またバリアフリー化という話や福祉という話になるということを知ると、今後車いすの方がお乗りになるとか利益が少ない、遠くまで行きにくい、等いろんな面を考えて、いろんな専門知識であるとかそういったことで提案書を出してこうした会議がございましたらヒアリングをしていただければそれが可能かどうかと、そういうことを見ていただいた上で業者を決めるとか、設備を決めるとか、お願いをしたいなということがございます。

また、やはり今非常に収益が減って厳しい状況の中でこういった運行を増やしていただくのは非常に嬉しいことですが、是非地元企業による広告収入とか、そういったものを財源としたことを少し考えていただきたいと思います。私もバスがたくさん町を走って欲しいもんですから、なかなか採算が苦しいということであれば、広告収入のように財源をどこかから探してきて、少しでも利用価値のあるようなサービスを提供しやすいように見直しをして欲しいと思います。

事務局

広告につきましては、検討は始めております。どうなるかということは全然決まってないのですが、考え始めてはいます。もし決まればこの会議でご説明

できる日がくるとは思います。

委員

バス停は互換関係でやっていただいて、どういう影響が出るのか、新しいご提案をしたいと思います。

会長

やっぱりいろんなアイデアを運行业者さんお持ちだと思いますので、そのあたりのデータを見ながら意見を出していただいていい案ができればいいと思います。

先ほど仮の名前ということだったんですが、右回り左回りというのは、乗られる方にとってはわからない方が多いと思います。やっぱりそれぞれに名前をつけた方が乗られる方にとってはわかりやすいと思います。名称についてはまだ決定してないという話ですが、地区の皆さんにもお聞きいただくとか、ご検討いただくといいと思います。

委員

車両のことなんですが、年間通して朝から晩まで走るということで年間走行距離が長く、耐久性が気になります。いわゆる故障とか、トラブルがあった場合、代車を出すわけですが、利用される方からすれば全然違う形のバスなので、わかりにくいようで、今後検討をお願いしたい。

会長

当然のことながら市民の方へのPRも大事です。これは市役所のほうでやっていただけるのでしょうか。

事務局

この会議でご承認いただけたらすぐに周知のほうに入っていきたいと考えています。

会長

代車になったときには市民にとって見分けがつかない、利用者にわかりやすくする必要がありますね。

事務局

一応今も代車の時にはその路線のものであることをわかるようにはしていますが、全く全体の形が変わってきてしまうので、代車の時には気を

つけてといっても、利用者の方にとっては頭の中にこの番号とか何線とかこの色という思いがあるので、難しいところはあります。

会長

難しいところがあるが、是非検討をお願いしたい。

事務局

それにつきましては、また事業者と話をさせていただきたいと思います。

会長

若干まだ乗り入れてない地域もあるが、これについてはまた対応策を考えていただきたい。

10月から運行が行われるわけだが、その後何か利用者の皆さんにアンケート等行わないのでしょうか。

事務局

当然大きく見直しをしましたので、乗られる方の数はわかりませんが、乗り降りの場所とか実際の調査とかそういったものはどこかの時点で行わなければならないと考えております。ただ今の時点ではいつになるか分らないです。

会長

お金がいくことになるので、どこかで効率的な議論をして頂きたい。事業者をお願いしたいが、ご利用になられたから事業者とか運転手とかが一番状況がお分かりになるので、現場を見て頂く方にまた意見を是非とって頂きたい。利用者の要望なども含めて意見をいただくと大変ありがたいですね。

委員

せっかく大きな予算を使って実施するので、皆に乗ってもらわないと意味がない。車を買おうと思っていたが、こんなに便利になるならバスを利用したほうがいいかなとも思います。路線も複で、乗り換えしないといけない所もあるので、一回お試し期間を作ってもいいのかなと。たとえば一ヶ月間は無料にしますの乗って見てくださいなどアピールしてみてもどうでしょうか。車にするよりバスの方が直通で行けないし乗り換えの事などいろいろ考えないといけないことがあり、気軽に乗れなかったりする。子供連れてだとか、お年寄りだったらどうやって乗るのかなという迷いがあるので、そういうお試し期間みたいなものを作ってみるのもいいんじゃないかなと思います。

事務局

大変建設的なご意見で、気づかなかったことですので10月にやることは難しいと思うので、財政的なものも考慮して、1ヶ月というのは結構お金がかかるので、そこらも考慮して内部で検討させていただきます。

会長

今までご利用になってきた方はこれだけ変わってくると、また戸惑いをもたれる方もあるかもしれない。そうしたこともまたお考え下さい。無料ということになると法的な問題も絡むので、短い期間で、何かイベントと絡めながらお試し期間をやっていかれるとよろしいのではないのでしょうか。

事務局

ただし、タダでやっている市もあるので、一回無料にすると「無料でやれるじゃないか」と思われるのが少し心配ではあります。

会長

限定ですよとか、このチケットを持って乗られたらタダになるとか、イベントのときにチケットを使ってこれを使ったら乗れますよとかそういうやり方でいいと思う。

委員

ベンチについて。個人の人が持って来られても困るので、長椅子ぐらいは寄贈してもいいんだけど、そういった規制とかは何かあるのでしょうか。

事務局

道路上に置くとかはちょっと難しいと思うのですが、例えばバス停の隣の畑ですとか、もしそこでお話がつくようでしたらこちらとしてもご協力します。ただ、道路に置くことはできないので、バス停を新設したところの方には民地等であれば行って頂けたら市の方でベンチ置いたりだとか協力するとはお伝えしています。

委員

道路上は絶対だめっていうことはないんですよ。

会長

基本的にはそういうものを置くのはやめましょうということなんですが、まあ場所によって人の通行の妨げになるかとかいろいろ条件があるんですが、民地であれば問題ないです。

事務局

基本的には歩道がついてるところで、人が通れる余地があれば置く事は可能だが、車道だけで横に路側帯があるようなところは難しい。

会長

バス停を町内で管理するというのもよくあります。

他にございませんでしょうか。

今いろんなご意見なり頂きました。是非安城のあんくるバスは愛知県の中でも早めにサービスを開始したのですが、最初の2路線からここまで育ってきてこうしたことも市民の方々にメッセージを出してきて先ほどおっしゃっていただいたようなことも是非メッセージとして出して頂いて皆さんに広めて欲しいと思います。

路線名とバス停の位置はまだ議論の余地があると思いますが、基本的には今出して頂いたこの10路線について今日の協議を了承して頂きたいのですがよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは今日の議題はここまでということで、協議を終わらせて頂きたいと思います。どうもありがとうございました。

都市計画課長

ご審議の方終えて頂きましてありがとうございました。今年度の今後の予定でございますが、昨年度の総合交通計画を議論頂いたわけですが、今年度も続きですね、総合交通計画の、今度は戦略プランというか、そういったものを作っていく予定をしております。次回開催についてはそういったものの中間報告にはなると思っています。日程のほうが決まっていますが日程が決まり次第報告いたしますので宜しくお願い致します。

今回はどうもありがとうございました。